

典型4種労働災害防止重点取組期間

労働災害防止のための基本的対策を再確認しましょう

白河労働基準監督署管内における、平成29年(4月末)の労働災害は、平成28年同時期と比較して**32.5%増**と、大幅に増加しています。

この事態を受け、白河労働基準監督署では、下記の典型的な4種類の事故の型の労働災害(「典型4種労働災害」)の防止のため、平成29年5月15日~7月31日を「**典型4種労働災害防止重点取組期間**」と定め、各種取組を行うこととしました。

同期間中には、型別の発生比率が高い、以下の型の労働災害について、基本的対策の再確認をお願いします!!

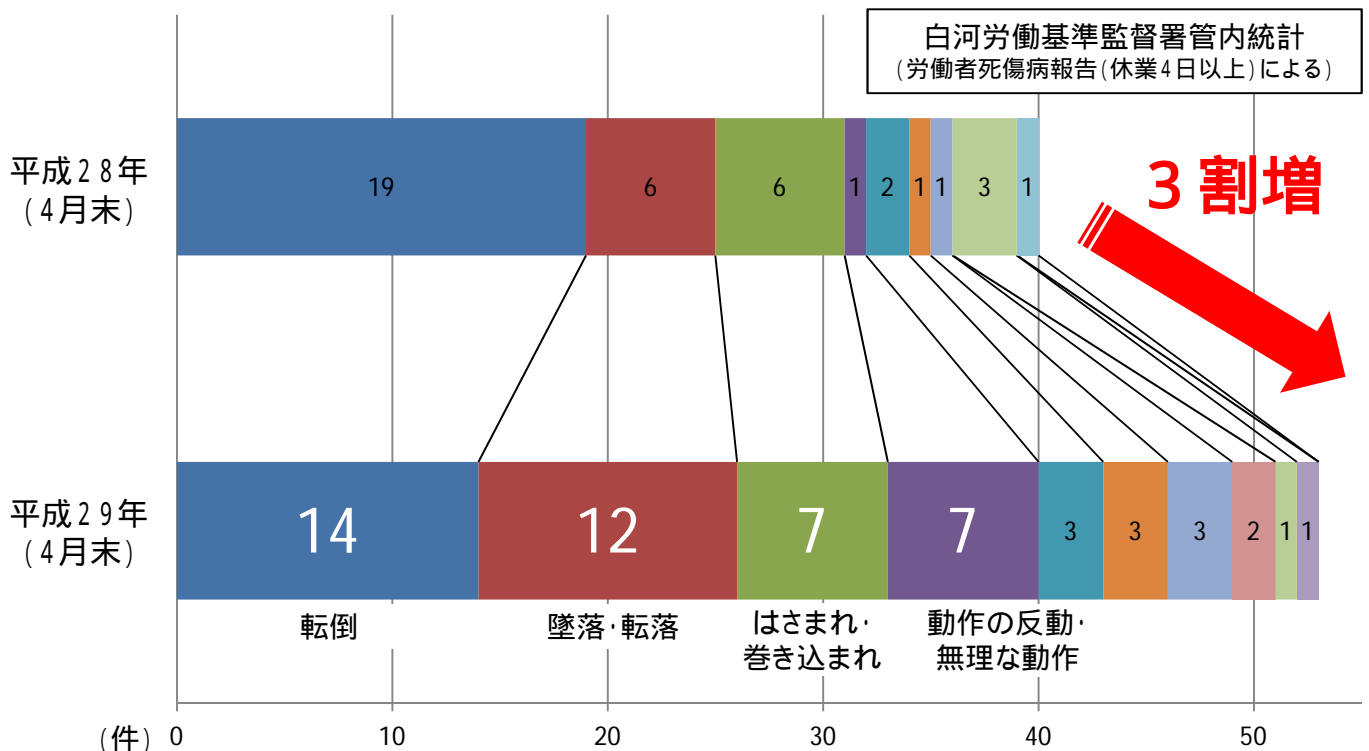
「転倒」

「墜落・転落」

「はさまれ・巻き込まれ」

「動作の反動・無理な動作」

- 転倒
- 墜落・転落
- はさまれ・巻き込まれ
- 動作の反動・無理な動作
- 切れ・こすれ
- 激突
- 激突され
- 交通事故(道路)
- 飛来・落下
- 高温・低温の物との接触
- 有害物等との接触



事故の型別にみた労働災害防止のための基本的対策

平成29年に発生比率の高い「典型4種労働災害」を防止するため、従来から取り組んでいる、基本的な労働災害防止対策を再度確認し、その定着に努めましょう。

事故の型		基本的対策
転倒		安全な作業通路の確保 4S(整理、整頓、清掃、清潔)活動の徹底 安全な歩き方・作業方法 作業に適した履物の着用
墜落・転落		足場などの安全な作業床を設置 手すりや柵の設置 はしご、踏み台、脚立の滑り止め 昇降設備の設置 安全帯、ヘルメットの着用
巻き込まれ・はさまれ		危険性の低い機械へ変更 囲い、覆い、安全装置 非常停止ボタン 修理、点検時の運転停止と運転禁止の表示
無理な動作・動作の反動		機械による自動化、省力化 取り扱う重量の制限 作業の姿勢、動作、手順、時間などについての作業標準 腰痛予防体操

上記の基本的対策のほか、「安全・衛生教育」、「注意喚起(危険の見える化など)」も組み合わせて、労働災害防止のための対策を講じてください。